

県内の景気動向

県内景況感 厳しい状況変わらず

製造業で悪化進む

1998.1

- 本調査の対象企業は県内の中小企業1000社
- 今回調査の有効回答企業数は392社
- 回答企業の業種別内訳
製造業185社・建設業44社・卸売業44社・小売業63社・サービス業56社

概況

2月の調査結果（1月末時点）によると前回調査と比較し、全産業ベースで採算を除き悪化となった。業種別で見ると、製造業は、全項目で悪化の動き。建設業は業況を除いて僅かながら改善の動き。卸売業・小売業はマイナスD I値高い水準ではあるが改善の動き。サービス業は売上を除いて悪化の動きとなった。

3カ月先の予想は、全産業ベースでは当月調査結果と比較してD I値では資金繰りで5.3ポイント、他項目でも10ポイント強改善となるが、現状のD I値がマイナス50以上という状況下にあることから、改善、回復というよりは今後一段の悪化はないが好転までは見込んではいないということであろう。ただ、業種別で見ると、建設業だけが採算を除いて現状より悪化を予想している。

今回の調査で製造業のD Iが資金繰りを除いた項目で全てマイナス50を超えた。これは94年3月以来の事である。ちなみに、昨年同月調査における製造業の業況D Iはマイナス0.6、同月の非製造業の業況D Iはマイナス37.8と製造業が一步リードしていた。その後、調査の回を重ねるごとに製造業の悪化が進みその差は縮まり今回調査ではほとんど差がなくなっている。

業況

製造業では前月マイナス解消となった「酒造」でD I値を下げた他、「食料品」「鉄鋼・非鉄」「金属」「漆器」でマイナスD I値拡大となった。建設業は「土木」でマイナスD I値高いながらも僅かに改善となった。卸売業は「衣服卸」で大きく改善となるも、前月良化結果であった「機械器具卸」が大きくD I値を下げた。小売業は「中小スーパー」を除いてマイナスD I値高めではあるが、全体的には前月より改善となっている。サービス業は全体的に悪化となる。特に「運送」「情報サービス」でD I値を下げた。

売上

製造業では「酒造」がマイナスD Iに転化した他、「食料品」「鉄鋼・非鉄」「金属」「漆器」で前月より大きくD I値を下げた。建設業は「土木」でマイナスD I値高いながらも改善となる。卸売業は先月不調だった「衣服卸」「青果物卸」で大きくD I値を戻す。小売業は改善となっている業種もみられるが、全業種ともD I値でマイナス50以上と厳しい結果となった。サービス業は「情報サービス」で大きく悪化となるも、全体的にはマイナスD I値高めではあるが改善となっている。

採算

製造業では「食料品」「縫製」「金属」で大きく悪化。全般的にもマイナスD I値高めで推移し悪化となる。建設業はマイナスD I値高いながらも「土木」で若干の改善となる。卸売業は「衣服卸」を除いてマイナスD I値高めで推移しているが、厳しい結果となった前月に比べると改善となっている。小売業は「家具・建具販売」では悪化となるも、全体的にはマイナスD I高めではあるが前月より改善となっている。サービス業は「運送」「自動車整備」「情報サービス」で大きくD I値を下げ悪化の動きとなった。

資金繰り

製造業では「鉄鋼・非鉄」「電器機器」で大きくD I値を下げた。「精密機器」はあと一息でマイナスD I値解消となる良化結果。建設業は「土木」が大きく改善となる。卸売業は「建築材料卸」を除いて改善となる。特に、「衣服卸」は大きく改善となった。小売業は前月に比べD I値では改善しているが「自動車販売」を除いてマイナスD I値高めで推移している。サービス業は「タクシー」に若干の改善見られるも「自動車整備」「情報サービス」で大きくD I値を下げた。